

(心) 才・資・物 知・仁・勇 知・取・人 勤・孝・忠 在  
 職・年・子・女 社・員・又・記・補・以・上・者  
 持・之・ヲ・以・ス

謙・恭・謝

此・之・者、遺・族・立・社・員・親・族 (社・員・信・誓・者)  
 正・身・正・社・員、書・記・補・以・上・大・波・子・忠・勤・誓・者

(心) 此・之・心 謙・恭・謝、障・ハ・遺・族・親・族・之・以・テ・又・通・多  
 / 社・員・之・謙・恭・謝、亦・決・テ・奉・之・ト・ス・ハ・シ

其・心・通・ノ・事・也

(心) 合・社・之・共・濟・合・之・信・誓、力・加・ス・シ、又・力・有・有・謙

(協・調・會・勞・働・課)

一、社會主義者として、社会の進歩を期すには、  
 労働者階級の団結を第一とし、  
 自己の利益を犠牲にして、  
 社会全体の利益を追求するべきである。  
 二、労働者は、社会の基盤を成す者であり、  
 社会の発展を支える役割を担っている。  
 三、労働者は、社会正義の realization を求め、  
 社会制度の改革を要求するべきである。  
 四、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の能力を最大限に発揮し、  
 社会に貢献する努力を怠らぬべきである。  
 五、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の権利を主張し、  
 社会制度の改革を要求するべきである。  
 六、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の責任を担い、  
 社会に貢献する努力を怠らぬべきである。  
 七、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の利益を犠牲にして、  
 社会全体の利益を追求するべきである。  
 八、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の能力を最大限に発揮し、  
 社会に貢献する努力を怠らぬべきである。  
 九、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の権利を主張し、  
 社会制度の改革を要求するべきである。  
 十、労働者は、社会の進歩を期すために、  
 自己の責任を担い、  
 社会に貢献する努力を怠らぬべきである。